

第42号

発行日：令和3年8月3日

発行元：介護老人保健施設 槇の里
〒953-0041

新潟県新潟市西蒲区巻甲4363番地

(TEL) 0256-72-0331

(FAX) 0256-72-0330

<http://www.jojinkai.com/maki/>

槇



「老い」に関する一私考

介護老人保健施設 槇の里
施設長 齋藤 弘行

この8月で、私も65歳となり「高齢者」の仲間入りです。(WHOの定義では65歳以上の人を高齢者としています)日本の総人口に占める高齢者の割合は、2020年には28.7%となっています。ちなみに、私が生まれた1956年の割合は5%強でしたので、高齢者率の増加は驚異的ですからあります。(国勢調査より)さらに2040年には35.3%になると推定されています。

個人的なお話で恐縮なのですが、先日私の専門領域の「日本血液学会」から以下のような連絡がありました。「さて、本学会施行細則の定めるところにより、先生の評議員としての任期が2021年9月30日をもって満了いたします。定款第8条2の定めるところにより、今後会費の納入は要しません。」(本文一部抜粋)これは、「貴殿はお年を召されたので当学会正会員は卒業ですよ」という意味ですね。出費が減るのはありがたいのですが、やはり少々ショックを受けました。最近の「高齢者になったんだな」を実感させられた出来事の一つでした。

そうは言っても特段の事情により若死にしない限り、最終的には誰でも高齢者になります。「人生100年時代」(リンダ・グラットン)を迎えようとしている今、単なる寿命ではなく「健康寿命」の方を何とか延ばしたいものです。

9月には敬老の日がありますね。20年後の敬老の日に私はインタビューを受けています。「お爺さん(私のことです)、長寿の秘訣は何ですか?」「そうですね、毎日のお酒を一合(ワインでも可)と高齢者の多くいる職場での継続勤務ですかね。」となると、20年後の私もここで働き続けているのでしょうか。まさか!?

クッキング



今回のクッキングレクは『トライフル』を作りました。カップにスポンジやフルーツを飾りつけていただくという、いたってシンプルなお菓子作りでしたが、あちらこちらで配られたそばから材料を食べ始めてしまうというハプニングが…（笑）そんな予想外の出来事も含めて、大いに盛り上がったクッキングでした！



七夕



7月7日に「七夕行事」を行いました。職員による下手な「七夕物語」のお芝居でしたが、そのぎこちなさがかえってご利用者様に大好評でした。最後はみんなで「たなばたさま」を歌いました！



槇の里で働く人たち

VOL.2 作業療法士



その人らしい生活の獲得を目指しリハビリを実施している作業療法士。特に日常生活動作（食事・排泄・更衣など）の改善に力を入れており、生活全般のケアにも介入しています。また、認知症のご利用者様には、安心して過ごせるよう運動療法や音楽療法などを用いて一人ひとりに合わせたリハビリを実施しています。

VOL.3 言語聴覚士

言語聴覚士は、病気等により、「話す」や「食べる」といった機能の低下に対して、ご利用者様の気持ちに寄り添いながら、ことばや嚥下のリハビリを行っています。口から食事を摂ることのできない方にも、安全面に注意しながら飴舂めを行うなど、楽しみある生活が送れるよう支援しています。また、毎月多職種での食事観察・会議も実施しており、食事の支援にも取り組んでいます。



通所リハビリ



7月の壁面は、東京オリンピックの開催にちなんで五輪の輪を作成し、マスコットキャラクター「ミライトワ」「ソメイティ」と一緒に飾りました。また、七夕の月でもあるので短冊や天の川も皆様に作っていただきました。8月は鯛車を展示する予定です。

○新型コロナウイルスのワクチン接種を実施しました○



槇の里では6月11日より第1回目、7月2日より第2回目の新型コロナウイルスのワクチン接種を実施させていただきました。

1回目、2回目共に5日間にわたり、各日20名様弱に接種していただきました。接種待機→接種→体調観察と順に移動していただきスムーズに接種することができました。

ほぼ全入所者の方が接種を受けられましたが、大きく体調を崩される方はいられませんでした。

ご家族様には接種券や同意書の提出にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。



チクツとしますよー

